

### 3. 廃棄物対策

公園で発生する廃棄物の分別処理や剪定枝葉を「海の森みどりの資源化センター」に持ち込み海の森の土づくりに使用する堆肥化事業に協力しています。

また、施設改修の際に発生したPCBの適切な処理を行うために適正管理・保管を行っています。

#### 公園などで発生する廃棄物処理

当社が管理している公園や駐車場では、日々さまざまなごみがでます。私たちは、分別等を行い適正に処理を行っています。ごみ処理量について平成20年度の処理実績です。

また、剪定した枝葉は、「海の森みどりの資源化センター」に搬入し、緑豊かな森を育てるための土壌とすることで、ゴミの減量と焼却処理のための化石燃料によるCO2発生の抑制になっています。

#### 平成21年度 廃棄物処理実績

一般廃棄物	56,830 Kg	産業廃棄物以外の廃棄物。生ごみ、紙くず、木くず等。
不燃ごみ	53,000 Kg	食器・窓等のガラス、陶磁器、鍋・フライパン等の金属、ペットボトル等の廃プラスチック。
粗大ごみ	46,890 Kg	大型電化製品(家電4品目除く)、タンス等の家具類、自転車、大きすぎて通常の収集対応の困難なもの。
再利用物	41,250 Kg	びん、缶、ペットボトルなど再利用できるもの
再利用古紙	8,980 Kg	新聞、雑誌等再生できるもの
剪定枝葉	111,700 Kg	樹木の剪定時に出る枝葉。「海の森剪定枝葉堆肥化事業」に協力し、「海の森みどりの資源化センター」に持ち込んでいます。

#### 有害物質の適正管理

##### 【PCBの保管・処理】

平成13年の「ポリ塩化ビフェニル廃棄物※の適正な処理の推進に関する特別措置法」の制定により、PCB廃棄物は、平成28年までに処理することが義務付けられています。

当社では、外資埠頭での施設の改修時に発生したコンデンサや照明安定器を適切に保管し、処理を行っています。



安定器

高圧コンデンサ

高圧トランス

※ PCB（ポリ塩化ビフェニル：Polychlorinated Biphenyl）廃棄物とは

熱に対して安定していて、電気絶縁性が高く耐薬品性に優れているので、加熱や冷却用熱媒体、変圧器やコンデンサといった電気機器の絶縁油、可塑剤、塗料、ノンカーボン紙の溶剤などに用いられました。

昭和43年に毒性が社会問題化し、我が国では昭和47年以降その製造が行われていません。

我が国で製造されたPCBの処理は、欧米諸国に比べて遅れています。平成16年12月から本格的な処理業務が開始され、処理を待っている間適正に保管する必要があります。